

「豊田市公共交通基本計画(素案)」に関するパブリックコメントの結果について

平成19年3月13日
都市整備部交通政策課

資料1

1 パブリックコメントの実施

- (1) 広報とよた 平成19年1月15日号に特集記事を掲載
- (2) 豊田市ホームページにて、パブリックコメントの実施を掲載(1/15~2/15)
- (3) 市政情報コーナー、市内各支所、出張所にて、パンフレットを縦覧(1/15~2/15)

2 意見の提出方法等

- (1) 意見提出方法：郵送、FAX、Eメール等
- (2) 受付期間：平成19年1月15日~2月15日

3 提出された意見の集計

(1) 通数

はがき	5通
封書	4通
Eメール	14通
ファックス	4通
あいち簡易電子受付サービス	1通
合計	28通



有効	22通
無効 (住所氏名の記載のないもの)	6通
合計	28通

(2) 件数 70件

4 提出された意見の内訳

公共交通の効率的運営について	9件
TDMや自動車交通抑制、P&R等について	8件
バスの具体的な路線、サービスについて	26件
鉄道や駅の整備について	12件
まちづくり全般について	7件
公共交通に関する情報提供・公開について	5件
その他	3件
合計	70件

5 提出された主な意見の内容

公共交通の効率的運用について

- ・ バス運行を市費で補うのは大賛成。
- ・ 地域の活性化はまず交通の発達から。早急に庶民の足の確保を。
- ・ 市交通局を作り、市営バス・鉄道にして欲しい。

TDMや自動車交通抑制、パーク&ライド等について

- ・ 交通結節点に駐輪場や駐車場を整備することに賛成。
- ・ 駅や基幹バスのバス停近くに大きな駐車場を作り、パーク&ライドの促進を

バスの具体的な路線、サービスについて

- ・ 現在の料金体系は分かりにくい。「基幹バスの料金体系の考え方」に賛成。
- ・ バスの乗り継ぎ待ち時間は15分以内にして欲しい。

鉄道や駅の整備について

- ・ 将来的に、基幹バスのかわりにモノレールを整備して欲しい。
- ・ 鉄道駅のバリアフリー化をして欲しい。

まちづくり全般について

- ・ バス優先レーンや車線変移システムを整備する。
- ・ 豊田市駅周辺の魅力を向上すれば公共交通の利用も促進されるのでは。

公共交通に関する情報提供・情報公開について

- ・ 自宅等から目的地への公共交通機関での経路を電話で聞ける仕組みや情報案内板の設置を望む。
- ・ 計画の実施にあたっての成果や利用者数、経費等を定期的に公開して欲しい。

6 意見に対する市の考え方と基本計画への反映について

- ・ 全体的に、本計画(素案)を踏まえた上で、具体的な路線・運行本数・運賃等に対する提案や要望が多く、計画の内容に反対している意見は無かった。
- ・ 寄せられた意見のうち、「計画の実施にあたっての成果や利用者数、経費等を定期的に公開して欲しい。」という情報公開に対する意見は、計画の中に反映させる。
- ・ また、寄せられたその他の意見については、今後の具体的な施策の実施にあたっての参考とする。

区分		意見の概要		市の考え
公共交通の効率的運営について		1	バスの乗務員以外の軽易な作業に、高年者、専業主婦、パート、アルバイトを活用し、人件費の低減を図る。	<p>これまで鉄道やバスなどの公共交通機関は、主に交通事業者による営利事業として運営されてきましたが、本市では、公共交通機関を水道や道路と同じ「社会資本」として位置付け、市の重要な施策として推進していきたいと考えています。今回提案された意見等を参考に、市民・交通事業者・行政がそれぞれの役割を担い、みんなで共働で公共交通を創り、育て、支えていきたいと考えております。</p>
		2	小中学校通学バスや福祉バスの運行経路などを見直して、一般利用も可能にして欲しい。	
		3	昼間の時間帯は電話等で予約運行する。	
		4	利用者数に応じて小型バスを導入する。	
		5	バスの小型化をする。	
		6	現在は名鉄バスなどの民間バス事業者により運行されているが、市バスを運行すれば、豊田市として独自の計画が立てられるのではないだろうか。	
		7	市交通局を作って、市営バス・鉄道にして欲しい。	
		8	市費で補うのはもっともです。大賛成です。	
		9	地域の活性化はまず交通の発達からだと思いますので、早急に庶民の足を確保してもらいたいものです。	
TDMや自動車交通抑制、P&R等について	自動車抑制	1	マイカーから公共交通機関に乗るために、マイカー乗り入れ料金を課す。	<p>自動車は利便性の高い交通手段であり、自動車でなければ移動できない人もいます。単に自動車利用を抑制するのではなく、移動する際に様々な交通手段を時と場合によって選択できるようなバランスの取れた交通体系を構築していく中で、過度に自動車に依存することなく、市民1人1人がその使い方考え、工夫することが重要と考えています。</p>
		2	ガソリン代が500円/ になればよい。	
	P&R駐車場	3	香嵐渓の渋滞を緩和するため、駐車場(石野運動広場、鞍ヶ池公園、豊田スタジアム)からシャトルバスを運行する。	<p>公共交通の利便性を高めるためには、交通結節点の整備が重要であると考えており、今度、パーク&ライド駐車場や駐輪場、待合施設等の整備を推進します。</p>
		4	猿投駅前にパーク&ライド駐車場を建設して欲しい。	
		5	名鉄及び愛環の梅坪、豊田、上拳母以外の駅、及び基幹バスのバス停近くに大きな駐車場を作りパーク&ライドを促進する。	
		6	豊田市内だけでなく、近隣市町村、特に名古屋市との公共交通ネットワークを強化するため、駅に隣接したパーク&ライド駐車場の建設を促進し、料金は200円程度の安い金額とすべき。駐車場運営への一定の公費負担は必要。	
		7	交通結節点に駐輪場や駐車場を整備することに賛成です。	
	啓発活動	8	定期的に通勤手段を自家用車から公共交通機関とする日を作り、市民に協力を促す活動をし、意識を高める。	<p>平成18年度の12月に、普段自家用車で通勤・通学している人に、公共交通機関や自転車などへ手段を転換してもらい、二酸化炭素排出量の削減効果や健康づくりへの効果を認識してもらった「チャレンジECO通勤」を実施しました。今後もこのような取組みを、事業者や地域と協力して実施していきたいと考えております。</p>

バスの具体的な路線、サービス等について	運行本数	1	豊田市駅と藤岡を西中山経由で結ぶ基幹バスは、平日休日ともに朝夕は1時間あたり2本、昼間は1時間あたり1本以上にする。	基幹バスについては、「運行時間帯は6～22時台、朝・夕の運行本数は1時間あたり1本以上、昼間は2時間あたり1本以上」もサービス水準を基本とし、各路線の運行本数を、地域の人口や土地利用、人の動きの状況などを参考に設定をします。また、各地域内を運行する地域バス等については、地域の実情に応じて、地域が主体となって企画・運営できる仕組みを展開します。
		2	地域バス等における「定期運行型乗合バス」の「乗合タクシー路線」について、現状では曜日によって運行する日としない日があるので平日は毎日運行するようにしてほしい。	
		3	高校通学用のバスを、最寄の鉄道駅から朝夕各2便程度運行してほしい。	
	運賃、乗車券	4	高齢者や通学者のためにできるだけ料金を安価にしてほしい。	運賃については、効率的な事業運営、サービスに対する適正な負担、市全域のバス利用者の公平性、地域特性などを配慮し、全市的に統一された分かりやすく利用しやすい料金体系を検討します。
		5	保見団地～浄水駅間、浄水駅～豊田市駅間を100円にしてほしい。	
		6	「基幹バスの料金体系の考え方」に賛成です。現在の料金体系は分かりにくいので、より分かりやすくして頂くことを望みます。	
		7	ICカードシステムを導入することに賛成です。	
	乗り継ぎ利便性の向上	8	名古屋市のように高齢バスを導入してほしい。	公共交通ネットワークを踏まえ、提案された意見を参考に、地域や交通事業者と協力して、利便性の高い路線やバス停の設定を行います。
		9	バスの乗り継ぎ待ち時間は15分以内、家から徒歩で5分以内でバスに乗れるようにする。	
	路線への要望、提言	10	通学における学校への送迎車両による渋滞の対策として、公共交通への転換が必要である。学生の移動ニーズを適切に把握し、乗り継ぎの悪さを解消し、アクセス性や速達性についても見直してほしい。	公共交通ネットワークを踏まえ、提案された意見を参考に、地域や交通事業者と協力して、利便性の高い路線やバス停の設定を行います。
		11	さなげ足助バスを浄水駅経由で新加茂病院行きにほしい。	
		12	三河豊田駅とトヨタ自動車本社を結ぶ交通機関がほしい。	
		13	豊田渋谷線を京ヶ峰北貯水場まで延長してほしい。	
		14	矢作川以東の地域から市南西部のトヨタ自動車本社や各工場に、乗換えなしで短時間で到着できる路線を設置してほしい。	
		15	乙部ヶ丘からの地域バスがほしい。	
		16	中心市街地玄関口バスについて、駅東口経由で竹生線を通っていただけませんか。また停留所も何ヶ所かお願いをしたいと思います。年輩者だけでなくバス利用の方にとっては300m位毎のバス停が欲しいのではないのでしょうか。	
		17	猿投駅や四郷駅と西中山を結ぶ地域バス路線を作ってほしい。	
		18	西中山 メグリア、藤岡支所(飯野)、猿投神社、加茂病院、八草(リニモ)等を循環するバスがほしい。	
	19	美術館 豊田市駅の基幹バス路線の新設又は他の路線の延長をしてほしい		

		20	内環状線や外環状線を走り、各鉄道やバスと結節する環状バス路線を希望。例えば豊田市駅～志賀町～五ヶ丘～トヨタ記念病院を要望。	
		21	外根団地からスーパーや開業医など、お年寄りの行くところへの路線にして欲しい。	
		22	若林から病院や豊寿園に行って欲しい。	
		23	豊寿園方面行きのバスを走らせて、料金を百円にして欲しい。	
		24	観光振興のため、足助と旭を連絡するバスを運行して欲しい。	
		25	岐阜圏域とのアクセスを検討して欲しい。	
		26	松平や下山方面からでも便利のように、例えば東海環状自動車道松平ICや鞍ヶ池スマートIC、伊勢湾岸自動車道豊田東ICなどまだバスが通っていない道路を利用した名古屋行き都市間高速バス路線を新設して欲しい。	
	鉄道や駅の整備について	1	足助地区香嵐渓口まで鉄道網を敷く。	鉄道やモノレール等の整備に多くの費用と時間を要するとともに、利用者確保することが重要であり、本市のみでなく、広域的視野で長期的に取り組む必要があります。本市では既に愛知環状鉄道の部分複線化や名鉄三河線の高架事業が実施されていますが、鉄道事業者や関係機関とともに、今後も積極的に事業を推進していきます。
		2	東部丘陵線(リニモ)を足助の香嵐渓まで延伸する。	
		3	将来的に、基幹バスのかわりにモノレールを整備する。	
		4	三河線の御船又は猿投運動公園への延伸を希望したい。	
		5	名鉄上挙母駅と愛環新上挙母駅を総合駅とし、相互乗換えの便宜を図る。	
		6	名鉄三河線の上挙母駅と土橋駅の間、鴻ノ巣あたりに新駅を作る。	
		7	名古屋から豊田市(トヨタ自動車)への直通高速列車(急行、特急等)の運行が必要。	
		8	三河線を複線化し、土橋駅からトヨタ自動車本社まで高架で接続すべき。	
		9	上挙母付近で愛環と名鉄の接続線路を建設し、相互直通運転するとともに、名鉄豊田線の終点を三河豊田駅にする。	
		10	LRTを整備する。	
		11	将来の展望として、東部丘陵線(リニモ)をグリーンロード上に延長して、八草-西中山-足助-稲武等への運行の夢を描いています。	
		12	鉄道駅のバリアフリー化を考えてください。	

まちづくり全般について	まちづくり	1	豊田市駅周辺に「わざわざ」出向くような店を誘致すれば、公共交通の利用も促進されるのでは。	都市計画や中心市街地活性化基本計画等に基づき、まちづくりの中で取り組みます。
		2	猿投駅前の区画整理を進めてほしい。	
		3	外国のように、道路に名称をつけそれに沿った地番をつけたら分かりやすい。	
	道路整備	4	基幹バスの走る車線数の多い幹線道路については、混雑する時間帯にバス優先レーンを設ける。	バス優先レーンや車線変移システム、道路整備などについては、今後、関係機関と慎重に協議しながら、交通や地域に与える影響や施策の効果、実現性等を総合的に検討しながら導入について検討を進めます。
		5	4車線道路に、時間帯により上下線が入れ替わるフレキシブルレーン(車線変移システム)を導入する	
		6	道路を利用して、歩道や自転車道を整備する。その結果一方通行も仕方ない。	
		7	通過交通による交通渋滞の対策として、バイパスの整備が考えられますが、すぐの実現は難しいと思われる。	
公共交通に関する情報提供・公開について	情報提供	1	どのように(鉄道も含めて)乗り継ぎすれば目的地に距離・時間について最短で行けるか、わかりやすい地図をバス停に設置する。	本市では平成16年度にITS情報センター「みちなびとよた」を開設し、インターネットや電話でも交通や観光に関する情報提供を実施しておりますが、今後もITSなどの最新技術を活用したバスロケーションシステムや情報案内板を導入し、バスの時刻や走行情報などを提供することで利便性の向上に努めます。
		2	自宅等から目的地へ行くための公共交通機関の利用の仕方についての案内を電話で聞けるしくみをつくる。	
		3	松坂屋にあるような交通情報板が設置されると良い。	
	情報公開	4	計画の実施に当たり、効果目標を立て、年度ごとの成果の総括と結果を情報公開する。	公共交通の利用状況、収支状況、改善の効果等を定期的に公表するとともに、3年を目安に、各路線ごとに評価・改善を行います。
		5	バスや電車の路線ごとの利用者数、経費等の情報を定期的に公開して欲しい。	
その他	1	「第7次総合計画」、「豊田市交通まちづくりビジョン」、「ITS推進計画」、「豊田市総合交通戦略」など数々の計画があり、これらと「豊田市公共交通基本計画」の関連をはっきりとさせるべきである。また、前述の計画の見直しがあったときは、本計画はどのように対応するのか。	本計画は、上位計画である「総合計画」、「交通まちづくりビジョン」等を受け、本市の将来的なまちづくり目標を達成するために必要となる公共交通の分野における基本的な方針を示したものです。したがって、上位計画が見直された場合には、本計画についても、必要に応じて見直しを行います。	
	2	パーク&ライド、市街地への交通流入の抑制、トランジットモール、LRTなどの整備などを総合的に実施する。		
	3	豊田市独自の交通地図を作り、豊田市に来訪する人が迷わないような工夫をして欲しい。	本市では、平成17年に「豊田市バスマップ」を作成し、みちなびとよたや市政情報コーナー等で広く配布していますが、今後も様々な工夫を検討します。	